



# チャイまる通信

vol.24<令和4年8月発行>

子育て世代包括支援センター「チャイまる」は、妊娠期から子育て期の方が元気に安心して生活できるようお手伝いする機関です。

今月のチャイまる通信では、「子どもの発達を促すためにやってあげたいこと」をご紹介します。お子さんが、小さいうちだからこそできることもありますので、ぜひご自宅でも試してみてください。

## 子どもの発達を促すためにやってあげたいこと・・・

【0～2歳】

愛着が形成されます。親をはじめとする特定の大人との間で安心できる関係を築く時期なので、たっぷり「愛」を注いであげましょう。



【3歳前後】

社会性が見え始め、友だちに関心が移ります。子どもは社会の中で体験を積み重ねることで、人付き合いの仕方を身に付けていきます。



【4～5歳】

していいことや悪いことが分かるようになり、きまりを作ったり、守ったりできるようになります。



### 関わり方ポイント

親をはじめとする特定の大人によって生命が守られ、愛され、信頼されることにより、人への信頼感が育つ時期です。

### 関わり方ポイント

友だちとたっぷり遊んだあと、お母さんが優しく迎えてくれる安心感が大事です。

### 関わり方ポイント

子どもが、いいことをした時、頑張った時は、具体的にほめてあげましょう。

## 公認心理師さんより ちょこっとアドバイス

子育ての相談でよく聞かれる悩みは「イヤイヤ期の対応」です。1歳を過ぎた頃から、履かせた靴もわざわざ脱いで「いや、ジブンデ」と言い出します。このイヤイヤの背景にある「自分は親の一部ではなく独立した存在だ」との自己主張は、心の育ちにとって大切なことではありますが、親にとっては、「接しにくさ」を感じる時期になります。

この時期以降は、“大人の指示で動かそうとするのではなく、子どもが自分の意思で動けるように導く”ことがポイントです。「どっちがいい？」と選択肢を与え、自分で選ばせる方法や時間的な「間」を置くことで子どもは自分の意思で動いたとの感覚になりやすいです。大人が余裕を持つことは大切です。とはいえ、他者からの促しを不快に感じやすいお子さんは「イヤイヤ」や「ジブンデ」が強く、一筋縄ではいかない場合もあります。親だけで抱え込まず、周りの人の力を借りながら乗り越えましょう。

いつでも相談お待ちしております。



公認心理師  
久保田さん

子どもの中には、お母さんの送っているたくさんのメッセージに対して、うまく受け取れなかったり、上手に反応できない子もいます。お母さんのメッセージに対し反応してもらえないと、イライラしたり、自分の育児方法が悪いのかと悩んだりすることもあるかもしれませんね。

大きくなればできるようになることもたくさんありますが、小さいうちだからこそ、できることもあります。



## ちょこっとコラム

男脳と女脳って聞いたことがありますか？

男性と女性では、脳の仕組みが異なるという研究報告があり、得意なことや苦手なことがあると言われています。

一概には言えませんが、男性の脳は、右脳と左脳のネットワークが多くないために、複数の物事を同時に進めるマルチタスクが苦手な方が多いようです。一方、直感的な判断や空間把握能力に長けているという特徴があります。

また、女性の脳は、右脳と左脳のネットワークが多いためマルチタスクが得意！また、記憶力の良さや言語コミュニケーションが発達しているのも女脳の特徴。しかし、脳内物質の分泌の影響で不安になりやすい傾向もあるようです。

ご家族の間でも「なるほど！」と思うことがあるのでは・・・？

## お子さんの気になることQ&A

**Q) 子どもと視線が合わないので気になります・・・**

**A)** お子さんが何に興味を示すか、よく見てみましょう。興味を持つものがみつかったら、その物のそばに顔を近づけて楽しくお話ししてみましょう。好きな物の先に一緒に遊んでいる人の顔を入れるのがポイントです。

**Q) 呼んでも返事をしません。どうしたらいいでしょうか？**

**A)** 「〇〇ちゃん」と名前を呼び、「はーい」を大人がいいながら、子どもの手をとります。好きな人形でやってみるのもGood。やりとり遊びは、嫌がらない程度に少しずつ、続けてみましょう。

**Q) 「いただきます」や「ちょうだい」をどうやって教えたいですか？**

**A)** 食事をするとき、遊びたいとき、物を貸してほしいとき、一連の動作に言葉をつけて、まず大人がやってみせましょう。動作につなぐことが難しいようなら、イヤなときは首をふるなどのジェスチャーから始めましょう。



**Q) 「だめ」と言われても、やめないで困っています。**

**A)** ダメなものは「ダメ」とぶれないことが大事です。すぐになぜそのような行動をとったのか、気持ちを聞きましょう。気持ちを受け止め、その時にあった言葉をおしえます。

例：「待ってね」、「ママ聞いて」など。

これらは、関わり方の一例です。子どもによって、うまくいく方法は異なります。

園や施設などを利用されている方は、子どもが混乱しないよう、関わり方を統一することが大切なので、園や施設の先生に相談してみましょう。

また、日置市役所でも月1回、すこやか相談会を実施しています。予約が必要となりますので、詳しくは、健やか母子係（☎248-9421）にお問い合わせください。

## 子育て世代包括支援センター チャイまる

【 お問い合わせ先 】〒899-2592 日置市伊集院町郡一丁目100番地

専用ダイヤル TEL:273-2177

【 開設日時 】 月曜～金曜日(祝日・年末年始は除く) 8時30分～17時

【 所 属 】 日置市 こども未来課・健康保険課健やか母子係

チャイまるは、「子育てに関する総合相談窓口」です。子育てに関することなど、お気軽にご相談ください。

